

ウエルハーネスだより

167号

理事長からの言葉



上尾市向山1-14-7
社会福祉法人 竹栴会
TEL: 048-782-0575
FAX: 048-782-0590
令和2年4月25日発行

ゴールデンウィークを目前にして、本来ならば心が浮き立つ時期ですが、世の中はコロナウイルスの猛威が衰えることを知らずに広まっています。特に医療の最前線でご尽力されている方には、感謝の念と敬意を表したいと思います。物心両方が不足する中、何とか踏みとどまっているのは、医療関係の方々の努力があってこそと思います。

さて、先日の朝日新聞の記事によれば、ヨーロッパ諸国では介護施設が崩壊しているとのこと。イタリアでは州立の高齢者向け施設で1000人強の入所のうち、220人が亡くなりました。問題なのは、予防策が全くとられていなかったことです。「高齢者を怖がらせるからマスクはするな」「ウイルス検査や防護服の着用もなかった」等々、ずさんな感染症対応が検察による捜査対象になっています。フランスでは死者の4割が介護施設で、中には職員が出勤拒否をしている所もあるようです。ドイツ、ベルギー等でも、相当悲惨な状況にあるようです。

個の尊重等の視点はこの際置くとして、予防に関する対策は我が国と全く違っているなと思います。手前味噌になりますが、我が国の介護業界は頑張っていると思います。医療同様、現在は何とか持ちこたえています。ただ、終わりが見えない戦いですので、いつまで耐えられるかなという不安はあります。

特に限界に来ているのが、訪問介護の皆さんです。先日、代表が安倍総理に物心両面での支援を求める要望書を出しました。NPO法人など零細企業が多い業界です。すでにマスクや消毒液も底をつき、ホームヘルパーは元々不足しており、さらに未知のウイルスですので十分な対応マニュアルも無い中、一人で家庭に向かう不安は相当なものがあると思います。現状のご利用者の介護だけでも大変なのに厚労省はデイやショートが休業した場合、ホームヘルパーと連携してはという現実離れした無責任な方針を打ち出しました。このままいくと、廃業を決意する事業所も出てくると思います。そんな中のやむにやまれぬ要望

書です。するとすぐに「NPOでしょう。自分の腹も傷めずに国にすぎな」という意見が寄せられました。要望書をちゃんと読めば、すがろうとしているのではなく、頑張っているその支援をとった内容であることは一目瞭然です。みんなで支えていかないと在宅介護が崩壊します。なんで足を引っ張る人がいるのかと悲しくなります。

皆さんにはコロナウイルス対策で通常とは違った形でいろいろとご協力をいただき、ありがとうございます。特に、ご入所の皆様のご家族様には長い間、面会ができず誠に申し訳ございません。これもヨーロッパ諸国のような介護汚染を防ぐためと、今しばらくのご辛抱をお願いします。ご要望、ご質問等ございましたら、遠慮なくお申し出ください。

3～4月の行事

4/1 開設記念日メニューは、味や見た目の豪華さもあり、とてご好評頂きました。
特養では、各ユニット毎に誕生日会を行ったり、玄関前に飾られた桜の木の前で季節写真を撮りました。
デイでは、3月に近くの神社の桜を見に出掛けたり、習字やサイコロゲーム鯉のぼりの壁掛け作りなどを行いました。

4～5月の予定

5/5 (火) は、端午の節句の行事食として「たけのご飯・赤だし味噌汁・トロ鱈の西京焼き・アスパラガスのかき揚げ・スナップエンドウのサラダ・フルーツゼリー」を召し上がって頂く予定です。
特養では、誕生日会や母の日のレクを計画しています。また、お茶会や季節を感じられるデザートを召し上がったり、ユニット毎に考えています。
デイでは、ピンポンゲームや風船ゲームなどを行う予定です。また、5/13・16に向山デイサービス春の運動会を行います。



お知らせ

5/7 を予定していました健康診断ですが、コロナウイルスの影響により時期を延期することとなりました。ご了承下さい。実施時期は決まり次第お知らせします。

特養
誕生日会

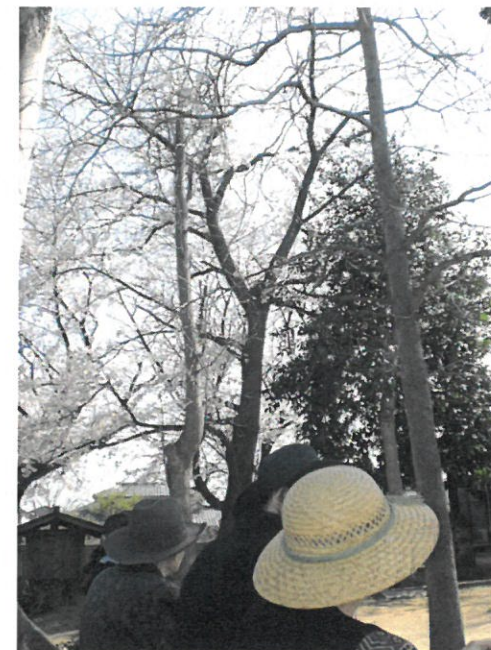


特養 お茶会

開設記念日メニュー



デイ おやつ工房



デイ お花見散歩

デイ サイコロゲーム



デイ
壁掛け鯉のぼり作り